

授 業 科 目 名	子どもの音楽活動	教 員 名	佐々木由喜子	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		保育士	必修
					こども音楽療育士	必修
科 目 番 号	KY0206	配当年次	2年後期	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	1単位				幼保コース	必修
科 目	大学が独自に設定する科目（幼稚園及び小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	学級現場や保育現場における、音楽活動の展開に必要な基礎技術の習得を図る。音楽の生活化を目指し、豊かな情操を養う事を目標とする。幅広い楽曲を体験し、音楽活動の実施方法を明確にする。					
到 達 目 標	(1) 腹式呼吸を意識した発声の技術を学び、母音、子音などの発音の表現技術を習得する。 (2) 音楽の表現に必要な音楽の基礎知識を、身体表現を伴って習得する。 (3) 音程、音量、音質を意識しながら、音や音楽を奏でることができるようにする。 (4) 合唱や合奏を通して、美しいハーモニーやアンサンブルの楽しさを体験する。					
授 業 の 概 要	幼児期から児童の音楽活動は、子どもの豊かな情操と音楽的感性を育て、その体験は子どもの人間形成に大きな影響を与える。本授業では主に、「学芸的行事〔音楽集会、今月の歌…など〕」「儀式的行事〔入学式、卒業式…など〕」を展開するための基本的な知識、技能、ICT教育教材の活用法を習得するために理論的、実践的学習を行う。授業形態は演習とする。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本演習は、教育学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「7. 教育実践力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>行事で取り扱われる楽曲の演習を通して、拍やフレーズ、ブレスを大切に扱いながら明るくはずんで歌えるようにする。(目標(1))</p> <p>第2回：行事で取り扱われる楽曲の歌詞や作曲家の表現したいものを理解する。リズムや旋律の特徴を理解し、曲想を大切にしながら一人ひとりが表情豊かに歌えるようにする。(目標(1), (2))</p> <p>第3回：集会などで取り扱われる2部合唱などの楽曲を通して、テンポやブレス、強弱記号などの音楽記号の表現方法を理解して演奏できるようにする。(目標(1), (2), (3))</p> <p>第4回：集会などで取り扱われる2部合唱などの楽曲を通して、様々な表現方法を理解する。(目標(1), (2), (3))</p> <p>第5回：月の歌で取り扱われる楽曲の歌詞を大切に扱い聴き手に伝わるように歌い、リズム感、旋律感、休符、などをていねいに扱いテンポ感をもって歌えるようにする。(目標(1), (2), (3))</p> <p>第6回：月の歌で取り扱われる2部合唱の楽曲を音程を正確に取り、明るく元気に歌えるようにする。(目標(1), (2), (3), (4))</p> <p>第7回：月の歌で取り扱われる楽曲に手拍子やかけ声、身体表現などを取り入れ、リズム感のある表現をできるようにする。転調などの楽曲の構成面も考え歌えるようにする。(目標(2), (4))</p> <p>第8回：「地球はみんなの大合唱」など運動会の歌を明るく表現豊かに歌い、16分音符の扱いを丁寧にし、いろんな動物の特徴を出す。セーニョなど記号に注意し楽しく歌えるようにする。(目標(1), (4))</p> <p>第9回：季節感のある月の歌で取り扱われる楽曲を丁寧に歌い、クレッシェンド、デクレッシェンドなどや、スラー、スタカートなどの記号に気をつけ美しく歌えるようにする。(目標(1), (2), (3))</p> <p>第10回：「夏の思い出」など季節の歌の詩の表す情景を想像しながら、ふさわしい速度やフェルマターの長さに気をつけて歌い、リズムと旋律を大切に、言葉を丁寧に歌えるようにする。(目標(2), (3), (4))</p> <p>第11回「世界中の子どもたちが」など月の歌をマーチ風に楽しく2部合唱で歌い、3連符のアフタクトの出だしやリズムを大切に扱う。コーダはさらに大きさをもって歌えるようにする。(目標</p>					

	<p>(4)</p> <p>第12回：「世界に一つだけの花」など集会の歌の歌詞や作曲者の表現したいものが聴き手に伝わるように歌い、16分音符やスラー、細かなリズムなどに注意し名曲を大切に歌えるようにする。(目標(3), (4), (5))</p> <p>第13回：「ビリーブ」など行事や集会の歌の歌詞や作曲者の表現したいものが聴き手に伝わるように歌いフレーズ感を大切に扱い、ブレスなども注意し、あたたかさが感じ取れるように歌えるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第14回：「今日の日はさようなら」など卒業式の歌の歌詞を丁寧に歌い、3部合唱の各パートのバランスに気をつけ、心情を込めて歌えるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第15回：まとめ「あおげばとうし」など卒業式の歌の歌詞を丁寧に歌い、2部合唱のバランスにも気をつけ、ピアノからフォルテの大きな音量の幅をもって感動的に、美しく、歌えるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>定期試験：グループ別発表を行う。</p>
学生に対する評価	<p>定期試験30%・グループ発表30%・音楽表現の発表30%・課題レポート10%により評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：シラバスで授業内容を確認し歌っておく。</p> <p>事後学習：授業の復習と伴奏の練習をする。</p>
テキスト	<p>『こどもの歌ベストテン』(ドレミ音譜出版社)</p> <p>『幼児のための音楽教育 改訂』(教育芸術社)</p> <p>『新たなしい子どものうたあそび 改訂』(同文書院)</p> <p>『教員養成課程小学校音楽教育法 新版』(教育芸術社)</p>
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編』(文部科学省)</p>
担当者からのメッセージ	<p>動きやすい服装で参加すること</p>
オフィスアワー	<p>授業以外の空時間に実施(メール等でアポイントを取ること。)</p>
備考	